

平成28年度事業報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

事業概要

平成28年度のわが国の景気動向は、大企業を中心に製造業、非製造業ともに10～12月期には過去最高益を達成するなど、年度後半から回復基調を示しています。

このような好況を反映して企業の求人も大きく回復し、生産年齢人口の減少を補うために、28年前半から60歳以上の人に対しても、求人倍率が従来に比較して高い状況が発生しています。

この結果、シルバー人材センターの入会者は全国的に減少傾向となり、本センターでも65歳以下の入会者は極めてまれな状況となっています。

景気回復基調の反面、企業は依然として人件費の増加に慎重な姿勢を保っています。加えて社会保険料の増加などにより、多くの国民に将来の生活防衛の意識も生じたことで、消費の伸びは緩慢な状況が続いています。

このことは、本センターにおいては請負業務の受注件数の減少とそれに伴う契約金額の減少という形であらわれています。具体的には、毎年の剪定を隔年にする、年数回の草刈りを1回に留めるなどの事例が見られるところです。

このように、平成28年度の経済をはじめとする社会情勢は、シルバー人材センターの請負就業分野においてはきびしい状況でありました。加えて約40名の会員がほぼ毎日就業する企業の請負を、年度後半の4か月間、派遣に変更したこともあり対前年度契約金額は94.4%となりました。

反面、派遣就業においては、28年度は就業人・日数が大幅に拡大したため、対前年度契約金額は230.2%と大幅に拡大しました。

この結果、請負と派遣をあわせた総契約金額では対前年比5.7%の増となりました。

また会員の確保については、本センターでは年数回、全戸に広報やチラシを配布して入会を呼びかけました。併せて、役員と職員がチームを組み勧誘活動を行うことで会員の確保に成果をあげてきました。就業拡大についても、全戸に広報やチラシを配布して南部・伯耆両町の皆さまに業務内容の周知を図ってきました。

このような取り組みの結果、全国的にシルバー人材センターの会員数が減少傾向にあるなかで、28年度末の会員数は、前年度を若干上回る3名の増となりました。

以下、平成28年度に実施した主な事業活動実績の概要を報告します。

事業内容

1 請負・委任契約の実績

(1) 概要（会員数他）

年 度	会員数（人）	受注件数（件）	就業延日人員（日人）
A 平成28年度	374	3,345	23,482
B 平成27年度	371	3,620	29,535
前年対比・% A/B	100.8	92.4	79.5

28年度において、受注件数、就業延人数が前年対比で減少した要因としては前述の事業概要で説明したとおりです。

(2) 契約金額の内訳

（金額単位：千円）

年 度	契約金額	契 約 金 額 の 内 訳		
		配分金	材料費	事務費
A 平成28年度	117,290	93,659	14,128	9,503
B 平成27年度	124,307	102,822	11,074	11,411
前年対比・% A/B	94.4	91.1	127.6	83.3

契約金額並びに配分金が前年対比で減少した要因としては前述の事業概要で説明したとおりです。

〔参考〕 総契約金額（請負就業並びに派遣就業）

（金額単位：千円）

年 度	総契約額 ① = ② + ③	請負就業契約額 ②	派遣就業契約額 ③
A 平成28年度	143,604	117,290	26,313
B 平成27年度	135,797	124,307	11,432
前年対比・% A/B	105.7	94.4	230.2

派遣就業が増加したことで、総契約額は5.7%の増加となりました。

(3) 構成別契約金額

(金額単位：千円)

年 度	契約金額	契 約 金 額 の 内 訳			
		公共事業	公社・公団	企業等	家庭
平成28年度 A	117,290	25,770	26	53,314	38,179
構成比率・%	100.0	22.0	0.1	45.4	32.5
平成27年度 B	124,307	21,518	26	62,442	40,321
構成比率・%	100.0	17.3	0.1	50.2	32.4
前年対比・% A/B	94.4	119.8	—	85.4	94.7

構成別契約金額では、公共事業が対前年比で119.8%となっています。これは平成28年度に選挙業務が3件あったことが大きな要因です。一般企業の契約金額が85.4%と減少した原因は、年度後半から就業形態を請負から派遣へ変更したことによります。

(4) 職群別契約金額

(金額単位：千円)

年 度	契約金額	職 群 別 契 約 金 額 の 内 訳					
		技能群	事務 整理群	管理群	折衝 外交群	一般 作業群	サービス 群
平成28年度 A	117,290	33,440	133	10,345	5,186	67,234	952
構成比率%	100.0	28.5	0.1	8.8	4.4	57.4	0.8
平成27年度 B	124,307	28,434	165	10,621	5,308	78,771	1,008
構成比率%	100.0	22.9	0.1	8.5	4.3	63.4	0.8
前年対比% A/B	94.4	117.6	80.6	97.4	97.7	85.4	94.4

職群別契約金額の構成割合は、技能群が117.6%と増加しています。これは選挙看板の設置業務が4件あったための増加です。一般作業群の減少については、「事業概要」で述べたとおり、受注件数の減少と企業の就労を請負から派遣に変更したことに起因するもので

す。

2 派遣就業の実績

派遣登録会員	派遣就業延べ人・日	契約金額（千円）	派遣契約件数 （企業、事業所等）
130人	8,072	26,313	25

契約金額の対前年比は、「(2) 契約金額の内訳」の参考で述べたとおりです。

3 就業機会の拡大

平成28年度は、職員9名に就業開拓・雇用サポート推進員の兼務辞令を発令し、日常業務と並行して、企業訪問や個別訪問によるチラシの配布をおこないました。また、役職員によるイベント時のチラシ配布や会員を対象とした草刈講習会などを開催して技能の習得と会員の就業機会の拡大を図りました。これらの取組みの他に、会員に隣近所、知人への仕事の依頼をお願いするなど、会員、役職員一丸となって就業機会の拡大に努めました。

4 新規加入会員の促進

入会説明会を、毎月第3水曜日に年間12回開催するなど、会員数の拡大を図りました。

このほかに、本年度は会員募集のチラシを2回全戸配布。南部、伯耆両町の有線テレビで会員募集番組や広告などを放送しました。また、役員と職員が個別訪問による会員の勧誘やチラシの配布、イベント時のチラシ配布を行いました。

5 普及啓発活動

全戸配布の南部シルバーだよりを2月に発行しました。このほか、新聞広告を1回、電話帳への広告掲載を2回行いました。また、平成28年10月29日には、伯耆町役場、溝口駅、溝口中学校、11月12日にはプラザ西伯と南部町天万庁舎において会員78名、職員7名により施設内の樹木のせん定や草刈、清掃などの奉仕作業を行いました。

さらに役・職員による伯耆町内の大型小売店前でのチラシ配布や、溝口彼岸市での行事に会員作品の販売やチラシ、ティッシュ配布を行い、シルバー人材センター事業の普及に努めました。

6 適正就業の推進

適正な就業形態については、本年度も関係法令を遵守し、引き続き適正な就業の形態の確

保に努めました。また、会員への均等な就業機会の提供については、本年度は、様々な理由により、11名の未就業者が発生しました。

7 安全就業の徹底と会員の健康管理

「安全はすべてに優先する。」を合言葉に平成28年度も、安全就業推進員を2名の役員会員に委嘱し定期パトロールを実施するなど次の事業を行いました。

- (1) 安全就業研修部会 2回
- (2) 安全就業対策委員会 1回
- (3) 安全就業対策委員による安全パトロール 2回
- (4) 安全・適正就業パトロール指導員（連合）パトロール 1回
- (5) 安全就業推進員（2名）パトロール 14回
- (6) 安全だよりの発行 年間4回
- (7) 安全適正就業研修会（連合会主催） 参加者 6名
- (8) 安全就業研修会（南部・伯耆各2回） 参加者118名
- (9) 入会説明会時安全就業研修 年12回 参加者42名

8 会員の意識と技能の向上

年間12回の入会説明会において、シルバー事業の理念について説明を行いました。

また、会員の技能向上のために専門の講師を招き草刈講習会や子育て家庭生活支援員養成講座等を開催して技能の習得と会員の拡大を図りました。

また、派遣の就業を行う会員に対して、平成28年度から派遣就業についての留意事項やマナー等を学習することを目的に派遣会員研修会を開催しました。

9 事務の効率化について

近年増加している南部・伯耆両町外からの発注や問い合わせに対して迅速に対応するため、平成26年度から本所と伯耆支所のインターネット環境を整備し、併せて本法人のホームページも立ち上げ、これからのネット社会に対応できる組織づくりも進めてまいりました。

これらのシステムをさらに効率的に活用することでお客様や会員の皆さんに対する利便性を向上させるために、広報によるホームページの周知やその掲載記事の定期的なリニューアルを図るなどを平成28年度も実施してきたところです。

10 会員の福利厚生

平成27年から始めた「女性のつどい」は、28年度は9月7日に、女性会員15名が参加して県東部への研修を行いました。同つどいは29年3月にも17名が参加して料理教室を開催、ピザ作りに挑戦しました。

男性会員を対象とした親睦行事としては、平成29年2月14日、男の料理教室を開催。男性会員13名が参加してこちらもピザ作りに挑戦。みなさん、初めてとは思えない手さばきを披露し、完成したピザも全員が「すごく旨い」と大好評でした。

恒例のグラウンドゴルフ大会は10月26日、伯耆町宮原水辺公園において第2回目となる大山町シルバー人材センターとの交流グラウンドゴルフ大会を開催しました。本センターからも36名の会員が参加して、上位10人中7人を本センター会員が占めるなど健闘しました。

11月5日には、同会場で42名の会員参加を得て、南部広域シルバー人材センターグラウンドゴルフ大会を行い、わきあいあいの熱戦を繰りひろげました。

また、2月17日には伯耆地域班会員と職員21人が参加して出雲市方面への研修旅行を行いました。

サークル活動は、南部町では押し花教室、伯耆町では手作り（手芸等）サークルが、年間を通じて月1回の割合で開催され、作品は町や地域のイベントなどで展示されました。

以上のような行事には、今後とも積極的に取り組んでいくことで、会員相互の親睦を図り、併せて会員拡大にも役立てていきたいと考えます。